令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	27

担当課	都市整備課	担当課長	井上 英貴
事業担当者	阿部 威	一次評価者	阿部 哲也
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	無
事務事業名	公園施設管理事業		
予算科目	8 款 5 項 2 目		
予算事業名	公園管理費		
総合計画での位置づけ（施策名）	豊かな自然と共生する		
事業の性格	自治事務		
法令根拠等	–		
事業の対象	全住民		
事業の目的	公園施設に起因する事故等の防止や地域の景観の向上を図るため、公園・緑地の公園施設について、適切な維持管理を行うもの。		
実施期間 開始年度	平成 25 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	公園施設の適切な維持管理。		

目的達成の指標（成果指標）

公園・緑地の維持管理率

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	%	100	100	100	100
実績	%	100	100		

指標設定の考え方	久山町全域の公園・緑地施設の内、維持管理が必要な施設を100として、適正な管理を行った割合を成果指標とする。
計画時の懸案事項	公園施設の老朽化が進んでおり計画的な改修が必要になる。
計画時の懸案事項への対応	毎年度、施設の点検を実施し優先度をつけ補修を行っている。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,430 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,898	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	717	789	789
事業費	直接事業費	33,539	21,750	35,578	37,221
	人件費	765	717	789	789
	合計	34,304	22,467	36,367	38,010
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	7,193	2,200	2,200	2,200
	一般財源	27,111	20,267	34,167	35,810
	合計	34,304	22,467	36,367	38,010

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	33,539	21,750	35,578	37,221	37,221
実績	32,539	18,408			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
樹木剪定工事	円	3,000,000	3,600,000	2,700,000	5,000,000
		5,203,000	2,597,281		
フォレストロード整備工事	円	4,800,000		7,000,000	25,000,000
		4,791,600			
遊具設置工事	円	1,000,000	1,400,000	6,000,000	2,000,000
		755,700	0		
枯損木撤去工事	円	1,000,000	1,000,000	1,300,000	1,300,000
		1,443,200	1,905,200		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　2,067 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.1	0.1	0.1	0.1
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,022	7,898
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	765	717	702	789
事業費	直接事業費	32,539	21,750	18,408	35,578
	人件費	765	717	702	789
	合計	33,304	22,467	19,110	36,367
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	8,287	2,200	3,394	2,200
	一般財源	25,017	20,267	15,716	34,167
	合計	33,304	22,467	19,110	36,367

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	阿部　威

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
☑ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
☑ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
☑ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
☑ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
☑ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
☑ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
☑ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
☑ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
☑ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
☑ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
☑ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
☑ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
☑ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
☑ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
☑ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
☑ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

当該事業は主に町民等が利用する公園の維持管理を行う事業であり、事業そのものの必要性・町による実施の必要性ともに非常に高く、また、町民の要望に基づき、現場に最も適切な施工方法を検討した上で事業に当っているため、有効性・効率性ともに高いものである。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

住民要望に沿った計画と現場状況に合った施工により、適切かつ効率的な事業を行うことができたと認識している。樹木等の成長や公園施設の老朽化により、維持管理コストは年々増加してきているが、管理予算は横ばいで推移しているため、維持管理に係る苦情や要望が増えてくるのではないかと懸念している。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	阿部　哲也

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
☑ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
☑ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	5	
☑ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
☑ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
☑ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	A
☑ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
☑ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
☑ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
☑ 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
☑ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
☑ 事業費に見合った成果を上げている。	5	A
☑ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
☑ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		
☑ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	5	A
☑ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
☑ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

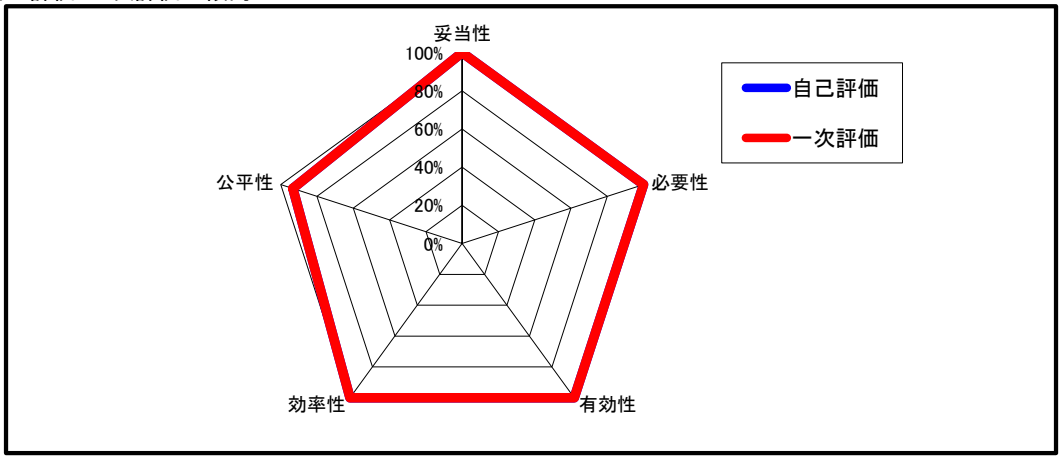
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

本事業は、町民の憩いの場である公園・緑地等を定期的に維持管理し、基本計画に掲げる「豊かな自然と共生する」に寄与するものである。今後も町民の要望等にも対応しながら施設の特徴等に考慮し、適切な維持管理を実施していく。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	井上　英貴

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

本事業は、町民の癒し・集いの場である公園・緑地の維持管理を行っており、当然、常に安心安全な環境を提供しなければならない。現在行っている適正な維持管理を継続し、今後に増加が予想される要望等の対応が必要と考えられる。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

→ 外部評価委員会で評価する。
月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

→ 一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
☐	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
☑	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
☐	C見直し
☐	D廃止
☐	E完了

C見直しの具体的内容
☐ 実施方法の工夫
☐ 事業の効率化
☐ 受益者負担の適正化
☐ 事業縮小
☐ その他

評価	B

外部評価委員の意見

・利用する町民の要望等を反映できる仕組みを構築する必要があるのではないか。
・本事業は維持管理、改修が基本となるが、更に住民の要望（児童公園においては学校を経由して児童や保護者）調査をしてはどうか。
・老朽化等による維持管理経費はかかってくるだろうが、安全面を考慮すれば必要な経費であるため、安全面を第一に事業を推進してもらいたい。

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
☐	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
☑	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
☐	C見直し
☐	D廃止
☐	E完了

C見直しの具体的内容
☐ 実施方法の工夫
☐ 事業の効率化
☐ 受益者負担の適正化
☐ 事業縮小
☐ その他

評価	B

経営者会議の結果

地域の児童公園については、ラブアースや道路愛護デー等で町民の皆さまの協力を得ながら管理を行っている。また、公園遊具に関する町民のニーズは高く、令和元年度から設置を進めてきた。安心して遊ぶことができ、安全が確保できる公園であるために公園管理事業の重要度は高い。今後は以下の点を考慮したうえで事業を継続していく。

・遊具については、ライフサイクルコストを把握した上で、メンテナンス計画を立て、定期的な点検を実施することで、安心、安全の確保に努めるとともに、遊具の長寿命化を図っていく。

・要望に関しては、個人の要望ではなく、行政区の要望について費用対効果も考慮し実施していく。

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）

遊具に関しては、安全に利用するという事が最優先であるため、成果指標は事故発生件数とし、事故発生件数0件を維持していくための活動指標として、適正な管理を行った割合及び行政区の要望について対応した割合を計上する。

また、管理方法に関しては、毎年実施している点検に基づくメンテナンス計画に基づき、修繕及び大規模改修を計画的に実施し、長寿命化を図っていく。